

4. サイン整備重点地区

4-1. サイン整備重点地区について 一地域づくりの動きから一

■サイン整備重点地区とは

前項までに示した「田園文化情緒を伝えるルート」ならびに「田園文化情緒を伝えるサイン」は、上位コンセプトである「田園文化情緒」に基づき北広島町全域を俯瞰して捉えた大きな方向性を示したものである。実際には旧4町や字単位で様々な景観が存在していることから、北広島町らしさをつくる田園観光サインは、その場所の風景や空間特性に応じて「ふさわしいかたち」が異なるのが特徴であり、ケースバイケースであることがその景観の良さを高める基になる。

しかし、町内すべての場所に立つサインを個別に設計・施工していくことはそう簡単ではない。まずはサイン整備を進めるにあたって、**今現在北広島町内で何らかの地域づくりに向けての動きがある場所や観光資源・景観スポットが一定のまとまりで括れるところをサイン整備重点地区として設定することが必要**である。そうすることで、観光拠点や情報発信、各種イベントなどと相まって地域づくりをより促進していく役割を担うことができると考える。

■サイン整備重点地区としての八幡地区

本計画ではH24年度北広島町サイン計画で個別に計画が検討されているとともに、観光の面や地域づくりの面でも町内でも特筆すべき場所として八幡地区を重点整備地区として設定し、具体的な提案とプロセスをケーススタディとして検討を行った。（※第6章を参照）

参考) H24年度 北広島町サイン計画 | 第Ⅱ部 サイン整備基本計画

第Ⅱ部 サイン整備基本計画

3. 八幡高原におけるサイン整備

3-1. 整備するサイン

八幡高原において総合案内サインの他、誘導サインを東西のエントランスに設置する。いずれも地域の景観形成に寄与する上質なデザインとし周辺も含めた修景に努める。

表Ⅱ-7. 八幡高原におけるサイン整備

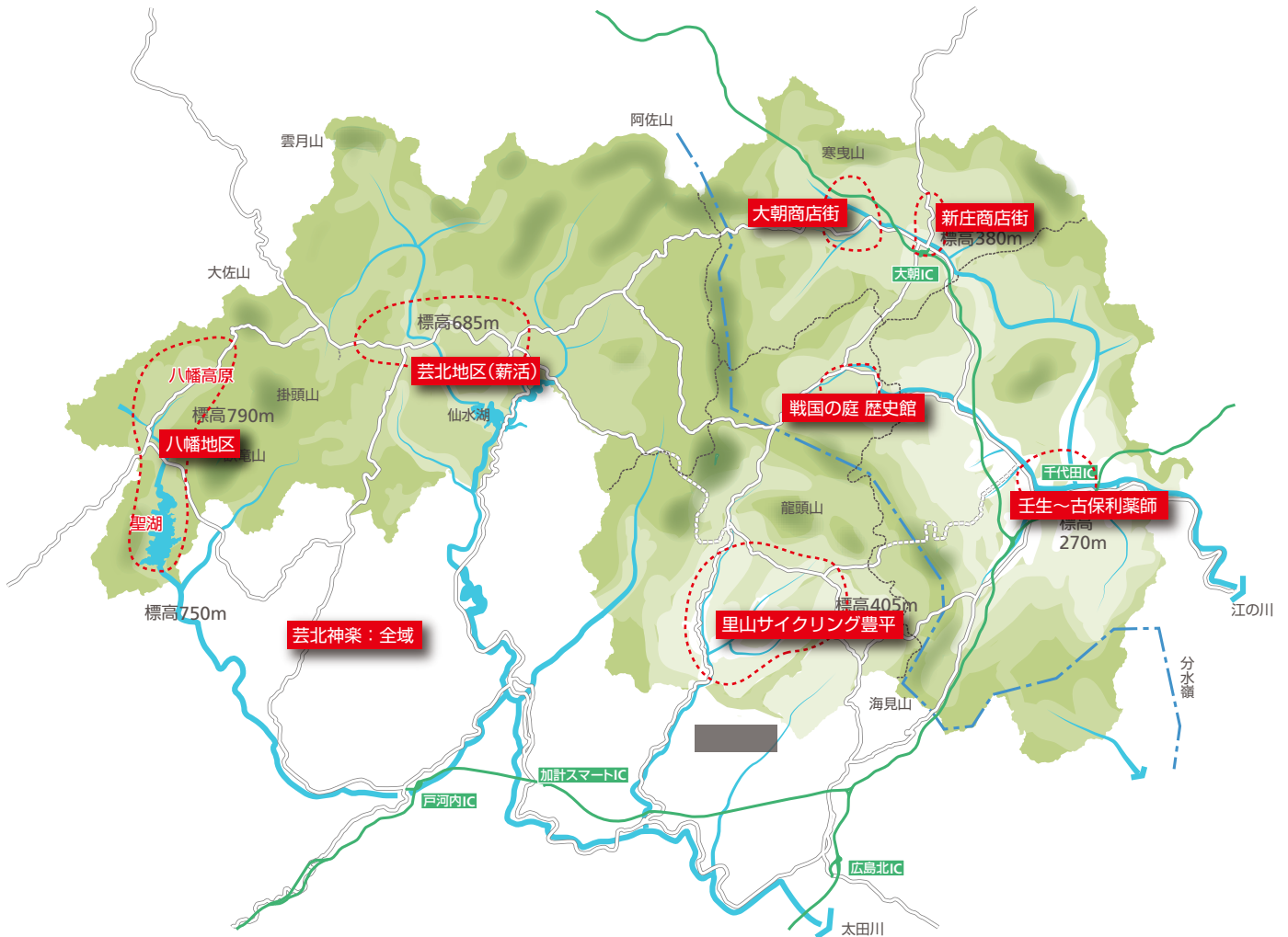
区分	整備方針	整備地点	整備主体等
総合案内サイン	・ 芸北高原の自然館周辺	・ 北広島町の全体像や町内の主要観光ルートを示す。	・ 町
地域交通結節点 (A)	・ 八幡高原西 (A-1)	・ 八幡高原の西のエントランスとして、景観形成に資する誘導サインの整備を行う。	・ 町 ・ 国道案内標識の改訂等 ・ 民間事業者の協力・分担
主要交差点 (B)	・ 八幡高原東 (B-1)	・ 八幡高原の東のエントランスとして、景観形成に資する誘導サインの整備を行う。	・ 町 ・ 国道案内標識の改訂等 ・ 民間事業者の協力・分担



図Ⅱ-13. 八幡高原と東西のエントランス

4-2. サイン整備重点地区の候補地の選定

今後のサイン整備を効率的に進めるために八幡地区以外に、以下の7箇所をサイン整備重点地区の候補地として選定する。



図：サイン整備重点地区の候補地の位置関係

■大朝商店街

わさ〜る産直館などがある大朝地区の中心地であり、古くから続く祭りもある。しかしながら近年は空き店舗も目立つようになってきており、活性化のために大学と連携して空き店舗や空き家を活用した、集いの場を作るプロジェクトを実施するなどの取組を行っている。

右の写真はわさ〜るでのイベント：わさまち (広島県観光サイトより)



■新庄商店街

新庄地区の中心地であり、また高等学校も隣接しているという特徴がある。商店街を通過する道路を景観に配慮したカラー舗装で整備しており、また、夏には夜市を開催するなどして活性化に取り組んでいる。

右の写真は夏期に行われる新庄夜市
(広島県観光サイトより)



■壬生～古保利薬師

壬生地区には商店街があり、近年、空き店舗に後継者が帰ってくるという動きがみられる。また壬生地区には花田植え、古保利地区には古保利薬師という伝統文化があり、それを活かした地域イベントが開催されている。

右の写真は右の写真は夏期に行われる新庄夜市
(広島県観光サイトより)



■戦国の庭歴史館

北広島町には吉川関連の史跡が数多く存在しているが、その拠点施設として整備したものである。隣接して吉川元春館跡も整備されている。拠点施設としてのイベントも開催しており、それが地域活性化にもつながるように取り組んでいる。今後町内に約80箇所ある城跡などを有益な観光資源とするような取り組みも検討されている。

右の写真は歴史館の中の展示の様子
(広島県観光サイトより)



■芸北地区(薪活)

木を地域通貨で買い取る仕組みにより、森林資源の活用を総合的に促進し、地域が抱えている課題である生物多様性の保全・里山の多面的機能の回復、地域経済の活性化・木質バイオマスの利用促進などの解決を図るとともに、薪を使った豊かな暮らしを推進している。

右の写真は薪活に取り組まれているところを紹介したマップ
(広島県への報告書より)



■芸北神楽

北広島町には約70団体の神楽団があり、それぞれの地元で活動することによって伝統文化を承継し、また地域の活性化にも寄与している。神社で奉納される秋祭りの神楽は、地元の人々が触れ合い楽しめる行事として欠かせないものである。北広島町が誇る有数の観光資源とも言えるが、ただ人を呼ぶために広報するのではない、地元と一体になった更なる魅力化の方策が求められる。

(写真：北広島町観光協会より)



■里山サイクリング豊平

サイクリスト誘致が盛んな瀬戸内エリアを意識し、山からも魅力を発信するため、豊平どんぐり村をサイクリングの拠点として優れた田園風景をいかした複数のコース設定をした。サイクリングマップを作成し、近隣の飲食店なども表記することで、豊平地域の魅力発信と活性化につながるよう取り組んでいる。

右にあるのは配布されているマップ。

